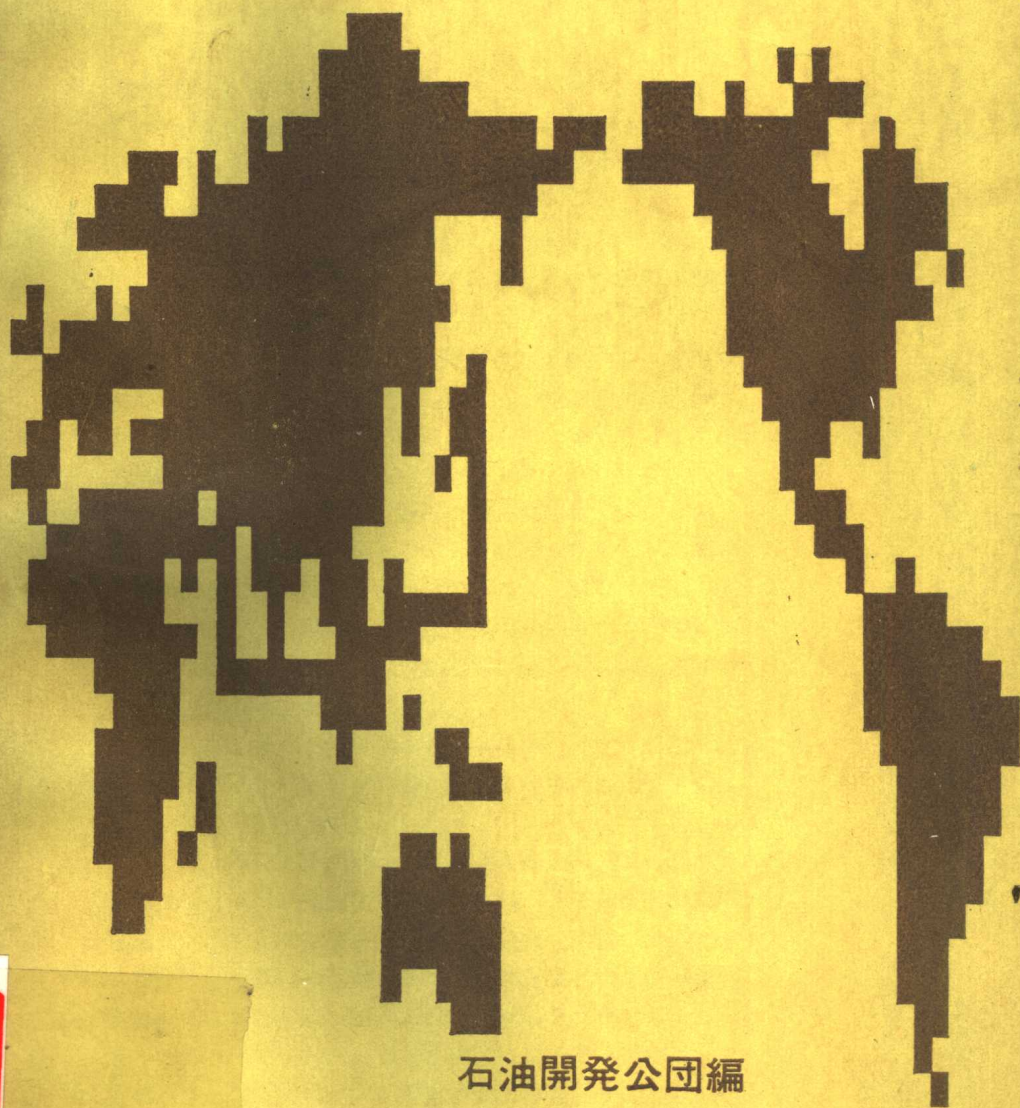


石油用語辞典



石油開発公団編



石油用語辞典

定価 2,900円

昭和49年12月25日 初版発行

編集者 石油開発公団

〒100 東京都千代田区内幸町2丁目1番4号

日比谷中日ビル TEL (03) 580-5411(代)

発行者 黒川清孝

発行所 日本石油コンサルタント株式会社

〒105 東京都港区芝西久保明舟町13番地

岡名ビル TEL (03) 503-5435(代)

振替口座東京 196712

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

印刷(有)柏葉

昨年10月、アラブ諸国とイスラエルとの間に勃発した第4次中東戦争に際してアラブ産油国が採った石油供給削減という石油戦略は世界をゆさぶり、特にエネルギーの四分の三を石油に頼る我が国の受けた衝撃は今なお記憶に生々しい。

アラブ産油国による供給削減とこれと前後して行なわれた価格の引上げ政策によって一挙に4倍にも急騰した原油価格は、世界経済に大きな激動と混乱をもたらしつつある。

エネルギーの無資源国日本は第2次大戦後海外からの安い原油のふんだんな輸入に支えられて高度経済成長を遂げ、今や世界第二の石油輸入国、膨大な石油の消費国となった。わが国の石油産業はみずからリスクな海外石油資源の開発に挑戦することをしないでメジャーといわれる国際石油会社の開発した原油を買い、これを精製し、製品を国内で販売することのみ専念して、政府も民間企業も直接産油諸国との協力や結びつきをもつことをしなかった。

産油国が資源主権をみずからの手にとり戻し、価格、生産、販売の自主決定権をもつという世界の供給構造の変革とともに石油情勢はなお流動を続けているが、供給源確保を怠ってきた無資源国日本は安定供給の確保と石油消費の面で重大な局面に立たされている。

石油危機以来、石油関係のニュースが新聞その他で報道されない日はない有様であるが、これら石油の動きやトピックスを理解するにも用語についての的確な知識が必要である。

また1967年に石油開発公団の設立と前後しておくればせながらようやく海外石油資源の開発に進出する企業が生れ、これら事業にたずさわる人々の数も増えたが、石油開発事業とは縁のない分野で活動していた人々も多い。

在来の石油関係用語辞典類は、石油産業といえば一般的に石油精製業と考えられるようなわが国戦後の石油産業構造を反映して、いわゆる下流部門中心のものが多く、海外での石油探鉱開発はここ数年来のことであり、また特に石油危機以後石油問題の用語が新聞雑誌にのようになったが、石油産業全体を通

じ、また世界的な領域から幅広く、かつこれら用語を平易に解説した手ごろな石油用語辞典が見あたらない。本辞典は上に述べたような視点から、上述の用語を政治、経済、技術の面から多角的に選び出し、これをわかりやすく解説する用語辞典として編纂（へんさん）したものである。御参考になればこれに過ぐる喜びはない。

ただ、毎日の多忙な日常業務のかたわら編集と解説との仕事に従事したことで、時間の制約のために技術用語と政治・経済用語の、また精製・開発部門間等の用語の取りあげかたや解説の難易さのバランスに充分推敲（すいこう）する暇がなかったので、次の機会にその改善と充実を期したい。大方の御批判と御意見をいただければ幸いである。

昭和49年12月吉日

石油開発公団

総 裁 島 田 喜 仁

編 集 の こ と ば

本辞典の編集に取りかかったのは一昨年暮れで、それから2年近くの歳月が経過した。発行を首長くして待ち望んでおられた方々には多大の御迷惑をお掛けしたが、この遅延の理由は、用語の選択に慎重を期し、何段階もの検討を重ねたこと、日夜本来の勤務に忙しい第一線の現役の専門家多数に執筆を依頼し、さらに学識経験豊富な上級者の査読を経たこと、ならびにこの期間に世界の石油業界が波乱に富んだ種々の事件に見舞われたため、アップ・トウ・デイトにするため度重なる内容の変更を余儀なくされたことなどである。執筆者諸氏の努力により多くの困難を克服してここに本書を上梓する運びに至ったことは、当辞典が石油開発を中心に、石油精製・販売・輸送および天然ガスなど幅広い範囲に亘る内容をもつものであるだけに編集者として喜びに堪えないところである。

本辞典の大部分の原稿は石油開発公団内部職員に執筆依頼したが、別掲の執筆者リストにも示されているように分野によっては公団外部の諸氏にも御協力を仰いだ。御多忙中のところ快く執筆を承諾されたこれら各氏に対し心から感謝の意を表する。

御高承の如く、世界の石油業界の変遷には目まぐるしいものがあり、近い将来折をみて改訂を行ない、より良い内容のものとして行きたい所存であるので、各方面からの御好意ある助言と批判を心から期待する次第である。

なお、最後に原稿の整理、校正ならびに索引の作成に当たっては、日本石油コンサルタント(株)渡辺高一氏の並々ならぬ助力をいただいたことを記して感謝の意を表する。

1974年12月吉日

編 集 方 針

1. この辞典は一般のエコノミストや産業人の便益を念頭に置き、石油開発を中心に、石油経済、石油法制・契約、石油鉱業技術、天然ガス、石油精製・販売・輸送など石油産業各部門にわたり重要と思われる用語約1,200を選び、可能な限り詳しい解説を行なった。
2. 項目の選定に当たってはできるだけ中項目主義によったが、それが不適当な場合は大項目あるいは小項目主義を併用することとした。
3. 本辞典の大部分の原稿は石油開発公団職員の執筆によるものであるが、別記執筆者名簿にもある通り、精製・販売・輸送などの下流部門関係は石油連盟の各氏、石油法制・契約関係は石油資源開発㈱の加藤勇氏、その他通産省、アラビア石油㈱の諸氏にも執筆を依頼し万全を期した。
4. ……を参照のこと(→)、……と同義語(=)の形を活用し、できるだけ多くの語を掲載するよう努めた。
5. 和文および英文索引は、見出し項目のほかに見出し項目としては出ていないが比較的重要と思われる用語をもあわせて収録してある。和文索引は目次としての用に供するために巻頭に掲載し、欧文索引は巻末に掲載して、それぞれ検索の便に資した。
6. 技術に関しては、本辞典の性格上事務に携わっている人々がよく耳にする重要と思われる用語に限ったので、より専門的な用語あるいはより専門的な内容については、その方面の専門書なり専門の用語辞典を参照されたい。

執筆 者 名 簿 (五十音順)

赤津 敏郎	石油連盟 外国調査部次長	芹田 保	石油開発公団 技術部生産課課長代理
井沢 宣光	石油開発公団 石油開発技術センター 油層研究室長	田名網寿夫	前石油開発公団 情報室調査役補佐、現在帝国石油㈱ 常磐沖開発部副主査
井上 毅	前通商産業省 鉱山石炭局石油開発課総括係長、現在経済企画庁 調査局内国調査課主任	田村 継明	石油開発公団 情報室
加藤 勇	石油資源開発㈱ 企画室	津村 光信	石油開発公団 企画調査室長
加藤 正夫	石油連盟 技術環境部保安課長	戸野 聡	石油開発公団 技術部地質課課長代理
葛原 典孝	石油開発公団 情報室調査役	永田 実	石油開発公団 技術部地質課長
黒岩 敦	石油開発公団 計画部調査役	難波 正義	石油開発公団 資金部管理課課長代理
小林 昂	石油開発公団 企画調査室	西川 輝彦	石油連盟 技術環境部環境保全課
小林 康生	石油開発公団 技術部生産課課長代理	西島 進	石油開発公団 開発部調査役
小簀 節男	前石油開発公団 企画調査室調査役補佐、現在共同石油㈱ L Pガス部LPガス業務課	野田 昭弘	石油連盟 外国調査部統計資料課長
斎藤 英紀	前石油開発公団 企画調査室、現在日本長期信用銀行 審査部調査役	羽田康政	石油開発公団 企画調査室
相良 晋	石油開発公団 総務部調査役補佐	服部 孝	石油開発公団 企画調査室L N G課
桜井 皓	石油開発公団 ベイルート事務所副所長	藤沼 茂	石油連盟 技術環境部次長
柴田 裕司	石油開発公団 計画部調査役補佐	星出 拓	アラビア石油㈱ 経理部経理課課長代理
島村 常男	石油開発公団 計画部	山崎 篤男	石油開発公団 企画調査室調査役
白水 忠	石油開発公団 企画調査室	渡辺 欽弥	石油連盟 外国調査部輸入調査課長
杉山昭之助	石油開発公団 計画部調査役		
鈴木 弘	石油開発公団 企画調査室調査役補佐		

監 修 者	山内 肇	石油開発公団 理事
査読編集者	石和田靖章	石油開発技術センター 副所長
	津村 光信	石油開発公団 企画調査室長
	杉山昭之助	石油開発公団 計画部調査役
	山崎 篤男	石油開発公団 企画調査室調査役

— 凡 例 —

1. 項目の配列はアイウエオの順によった。
2. 項目名はゴシック体で示し、それに相当する外国語（原則として英語）を原語で並記した。
3. 欧文項目は欧文文字そのものの順位によらず、慣用的な音読によって配列した。

例、AGIP → アジップ

ENI → エニ

INOC → アイ・エヌ・オー・シー

NIOC → エヌ・アイ・オー・シー

4. 解説文中に他の箇所に見出し項目として出てくる用語の右肩に*印を、また項目以外の比較的重要な用語には右肩に†印を付記し、索引に掲載した。

なお、ある項目の解説文中に上述のような用語が2回以上出てくる場合には、原則として最初の用語にのみ*印あるいは†印をつけた。

5. 他の項目を参照することが望ましい場合は、文末あるいは適当な段落の終わり等に（→項目名）で示した。また、ある項目が他の項目の中で解説されているような場合も同様とした。

例：放棄義務→鉱区返還

6. 他に項目として解説されている同義語は＝印で示した。

例：オペック＝石油輸出国機構

7. 参考文献の記載は、項目の末尾に出所(1), (2)……として一括して掲げた。

和文索引

(注意) インデント(字下がり)してある項目は、見出し項目としては出ていないが比較的重要と思われるもので、解説文中†印を附してある用語である。

あ	頁		頁
アーマード・ケーブル	111, 316	アトランティック・リッチ	
アームズ・レングス・プライス	1	フィールド	268
RCD アイソマックス法	174, 237	穴明き管	59
RDS アイソマックス法	174, 237	穴かわし	25, 30
R/P	1	アナログ	5
IFP	1	アロナグ型地震探鉱機	255
IFP-HDS 法	174, 237	アナログ記録法	5
INOC	1	ANIC	5
IGT 法	175	アニュラス	5
アイソクラッキング法	1	アバダン製油所	136
アイソマックス法	1	アブカイク油田	8
相対取引価格	2	アブサフア油田	8
IPAC	2	アブダビ石油㈱	52, 205, 338, 357
IPC	2	アブハドリフ油田	8
赤線条項	3	AFRA	5
アキューミュレーション	3	油膨張押し	289
アクアパルス	3	油飽和率	6
アクト・オブ・ゴッド	3	AMINOIL	6
アクナキャリー協定	3	アメリカ海事委員会	343
アサバスカ	225	アメリカ石油協会	6
アジア沿海鉱物資源共同探査		AMOCO	7
調整委員会	27	AMOSEAS	7
AGIP	3	アラスカ石油開発㈱	205, 358
脚荷	293	アラビア石油㈱	
アジャスタブル・ビーン	300	26, 52, 152, 201, 205, 321, 338, 358	
アスファルト	4	アラビアン・メディウム	262
アスファルト基原油	115, 275	アラビアン・ライト	187
アスファルト乳剤	4	アラブ石油会議	7
アソシエーテッド・ガス	4	アラブ石油輸出国機構	7
アタバルジャイト	38	アラブ連盟	7
圧入	4	アラムコ	8
圧入井	4	亜硫酸ガス	236
アップストリーム	4	アルカリ洗浄法	236
圧密	4	アルキル基	156
アドバンス	5	アルキレーション	8
ADMA	5	アルキレート	9
		ARCO	9
		ARPEL	9

アロマティクス	9
アンカー・パイプ	59, 190, 272
アンクタッド	9
アングロ・イラニアン石油会社	3, 31, 134, 149, 181, 357
アングロ・ベルシア石油	131, 357
アンスタビライズド原油	9
安全水域	231
アンチノック剤	43, 156, 207, 339
アンチノック性	42, 281
安定産油量	9
アンデス石油開発㈱	197, 280
アンモナイト	289
アンレス・クローズ	10
アンレス・リース	10

い

IIAPCO	10
EGPC	10
イールド	11
イエーツ油田	333
硫黄回収	11
硫黄含有率	11
硫黄酸化物	225
異常高圧層	330
HISPANOIL	12
異性化	12
位相逆転	315
イソオクタシン	8
イソクラッキング装置	189
イソパラフィン	213
委託精製	13
一次移動	15
一次エネルギー	13
一時金	331
一次採取	13
一括特許料	324
一貫操業	13
一貫操業(石油)会社	14
逸泥	14
逸泥防止剤	15

一点係留方式	15
一般パートナーシップ	284
出光興産㈱	77, 333, 338
出光日本海石油開発㈱	205
移動(石油の)	15
移動式プラットフォーム	61
移動床式	212
移動層法	275
移動平均法	156
井戸元価格	15
イニシアル・プロダクション	16
イノセラムス	289
IMCO	16
イモドコ・ターミナル	16
イモドコ・プイ	16
イモドコ方式	159
イラク石油	150, 157, 357
イラニアン・オイル・コンソーシアム	16
遺留水	16
イラニアン・ヘビー	262
イラン石油㈱	150, 205
入会権	90
インカム・ゲイン	16
インダクション—エレクトリカル	18
検層柱状図	18
インダクション検層	16
インタスケール	18
インタンジブル・アセット	18
インタンジブル・ドリリング・コスト	18
インディペンデント・オイル・カンパニー	18
インテグレートッド・リファイナリー	18
インドネシア石油資源開発㈱	52, 205, 338
院内原油	115, 275
インボイス	19

う

ウィズアウト・プレジューディス	19
ウェイト・インジケーター	19
ウェット・オール・システム	36

ウエット・ガス(湿性ガス).....	20
ウェル・シューティング.....	111, 221, 296
ウェル・シンボル.....	20
ウェル・ロギング.....	111
ウォーター・コーニング.....	128
ウォッシュ・アウト.....	85
浮屋根(式)タンク.....	20
請負.....	20
請負作業契約.....	20
受け払いロス.....	251
埋め立て.....	25
運営当事者.....	83

え

エアガン.....	25
エアソルタイザー法.....	237
エア・ドリリング.....	25
ARC 方式.....	25
営業報告書.....	145
AIME.....	25
AARR.....	26
AA 制.....	169
AAPG.....	26
AOC.....	26
エーカー.....	26
エーカー・フート法.....	349
A重油.....	26
ATRSレート.....	369
ADPC.....	26
API.....	27
API度.....	27
API比重.....	27
APIボーメ.....	27
エカフェ.....	27
液化石油ガス.....	28
液化天然ガス.....	28
液化メタン・ガス(LMG).....	29
エキストラクト.....	350
エクィティ・オイル.....	29
エクィティ・キャピタル.....	29
エクィティ・シェア.....	29

エクセントリック・アーム.....	244
エクソン.....	29
ECOPETROL.....	29
エジプト石油開発㈱.....	197, 280
SS 規制.....	30
SNG.....	30
SN比.....	149, 166, 296
SBM.....	30
SP 曲線.....	167
SP 検層.....	167
枝掘り.....	30
エタン.....	30
エチレン.....	30
エツソ.....	31
エツソ・スタンダード石油㈱.....	54
HS 原油.....	31
H-Oil 法.....	174, 189, 237
エデレアス法.....	350
ENI.....	31
NIOC.....	31
NNOC.....	33
NOC.....	33
NGL.....	33
NPC.....	33
エネ調.....	33
エネルギー革命.....	33
エネルギー教書.....	236, 363
エネルギーの流体化.....	33
エビアン協定.....	34
FOB 価格.....	34
FTC.....	34
FPC.....	34
エマルジョン泥水.....	34
MMBtu.....	34
MOT レート.....	18, 369
Mcf/d.....	34
MCR 方式.....	35
MGR 法.....	126
ERAP.....	35
エリアス効果.....	308
エリアス・フィルター.....	308

LS 原油	35
LNG	35
LNG タンカー	35
LNG タンク	36
LMG	37
LPG	37
Elf/ERAP	37
エレクトロ・ドリル	94
ポレベーター	38
透隔探知	38
塩化マグネシウム	235
燕山運動	218
エンジン・サブストラクチャー	149
塩水泥水	38
円錐屋根(式)タンク	39
鉛直二次微分	177, 178
円バンク・ローン	294
塩分検層	39
塩分定量法	117

お

オア・クローズ	40
オアシス・オイル	40
オアシス・グループ	40
オアベック	40
オア・リース	40
オイル・インジェクション	126
オイル・ウェル・ガス	104
オイル・サンド	40
オイル・シェール	40
オイル・ストリング	40
オイル・ダラー	40
オイル・タンカー	40
オイル・バンク	40
オイル・フエンス	40
オイル・ペース・マッド	34
欧州経済協力機構	41
凹地	41
おう泥	41
OECD	41
AUXIRAP	41

オーソリティ	354
オートマチック・ポジショニング	61
オーバーショット	193
オーバーバーデン庄	41
オーバーライディング・ロイヤルティ	42
オーバーリフト原油	42
オープン・フロー・キャパシティ	154, 161
オープン・ホール	42
オキムフ	42
オクシデンタル社	271
オクタン価	42
オクタン価向上剤	43
オフ・ガス	43
オフ・サイト	199
オフショア・ドリリング	43
オフセット	178
オフセット井	43
オフセット・ロイヤルティ	43
オブリゲーション・ウェル	43
オベック	43
オベック控除	367
オペレーションズ・リサーチ	44
オペレーター	44
オペレーティング・アグリーメント	45
OLADE	45
オリフィス・メーター	176
オルドビス紀層(系)	45
オレフィン	116, 159, 202, 213
オン・サイト	199
温度測定	111
音波検層	46
音波探鉱	48
音波探査	48

か

海域の地方自治体境界線	48
海運二法	51
海外開発原油	52
海外経済協力基金	52
海外事業法人	52

海外石油開発株	205	核磁気検層	111
海外投資等損失準備金	52	角システム	107
外貨貸し制度	53	確定(認)埋蔵量	67
外貨割当制度	204	確率	67
会計の方法	172	火攻法	68
開坑	54	可採年数	68
海溝	54	可採埋蔵量	68
外国税額控除	54	可採率	291
外資系石油会社	54	貸方	68
改質	54	煅焼コークス	205
改質ガソリン	55	加重繰延係数	346
改質ナフサ	274	加重平均繰延係数	323
会社	55	ガス圧入法	68
解釈	296	ガス油接触面	68
改修	57	ガス・ウェル・ガス	104
回収率	58	ガス・オイル	68
海進	58	ガス化	199
海水泥水	58	ガス化脱硫	68
海成層	58	ガス・カッティング	68
解析	296	ガス・キャップ	68
回折波	148, 165	ガス・キャップ押し	69
海退	58	ガス・クロマトグラフ	69
海底仕上げ	58	ガスクロ・ロギング	256
海底平和利用アド・ホック委員会	62	カスケード法	69
海底平和利用委員会	62	ガス鉱床	126
回転信用状	188	ガス・コーニング	129
開発	58	ガス・コンデンセート層	69
開発事業請負契約	59	ガス・サイクリング	70
開発途上国	59	ガス水和物	70
開発輸入	59	ガス井	70
海盆	59	ガス井ガス	264
買戻し価格	60	ガス層	70
海洋汚染防止法	60	ガス徴	70
海洋開発	60	ガス田	70
海洋掘削	60	ガス・トラップ	256
海洋掘削装置	60	ガス・ナフサ	274
海洋掘削(用)プラットフォーム	61	ガス燃焼法	282
海洋自由の原則	63	ガスの液化	70
海洋法会議	61	ガスの地下貯蔵	70
蛙飛び禁止	263	ガス・ハイドレート	70
拡散電位	168	ガス飽和率	71

ガス水比	71
ガス油比	71
ガス容積係数	71
ガス・リフト	71
火成岩	71
課税基準価格	71
化石	72
ガソリン	72
ガソリン・ステーション	73
ガソリン・ペース精製計画	73
カタール石油㈱	205, 310
拡張	74
活性炭吸着法	238
カッティングス	74
カッティング・ガス・デテクター	256
ガット	173, 177
カットバック・アスファルト	4
カティフ油田	8
可燃性限界と爆発限界	74
可搬式給油所	86
株式会社	55
株式・保証責任会社	55
カフジ油田	26, 52, 20, 205, 321
空井戸	74
空井戸購入書面協定	313
空井戸贈与書面協定	313
空井戸負担書面協定	74
借方	74
カリフォルニア原油	115, 275
下流部門	74
カルグ島	2
カルテックス	74
カルテル	131, 179
ガルフ・オイル	75
ガルフファイニング法	237
ガルフHDS法	144, 237
ガルフ・プラス方式	75
カルボー条項	75
ガワール油田	8
冠	286

岩庄	42
簡易製油所	76
岩塩ドーム	76
間隙水	76
管式加熱法	275
乾式吸収法	238
乾式脱硫法	11
乾性ガス	76
関税還付	76
関税暫定措置法	76
関税割当制	170
間接脱硫	77
岩相	77
観測井	77
関東パイプライン株式会社	77
感度分析	77
ガンバー	78
ガン・パーフォーレーター	78
カンブリア紀層(系)	78
ガンマ線検層	79

き

キー・シート	352
期間条項	79
危険係数	81
危険分析	81
基準地点方式	81
キシレン	329
基礎ロイヤルティ	365
期待値	82
気体膨張法	125
北スマトラ原油	52, 205
北スマトラ石油開発協力㈱	52, 195, 205, 280, 338
北スマトラ油田	280
北ルマイラ油田	1
基底れき岩	362
基盤	82
希望値	82
義務井	82
義務低減条項	82

脚	125, 286
逆循環	256, 352
逆断層	198, 239
逆特性フィルター	261, 308
ギャザリング・ステーション	83
キャッシュ・アーニング	83
キャッシュ・フロー	83
キャップ・ロック	83
キャピタル・ゲイン, キャピタル・ロス	83
キャリード・インタレスト	83
キャリバー	119, 139
キャリバー曲線	258, 336
キャリバー・ログ	85
キャリブレーション	39
キャリヤー・ガス	69
級化層理	219
究極可採埋蔵量	85
究極産油量	219
究極埋蔵量	336
休止ガス井条項	183
休止井	85
九州石油開発㈱	205
給油所	86
給油所建設懇談会	30
供給価格	86
共通反射点水平方向重合法	86
業転	86
業転価格	86
共同鉱業権	87
共同作業協定	88
共同作業当事者	44
共同所有	89
共同井	222
共同石油㈱	77, 104, 205, 338
業務支出	170
共有	89
凝灰質頁岩	106
恐竜	289
局地的異常	155, 178
極東石油工業	77
許容産油量	90

巨れき	362
切離し石油支払い	206
キルクーク油田	2, 157
Kcal	91
記録断面	91
銀行借款	294
斤先掘り	222
金属性メンブレン・タンク	37
均等地点	82
均等償却法	253

く

クウェイト石油	150, 357
空間フィルター	308
空気浸透率測定法	118
クォーターウェイ・プライス	91
苦灰岩	155, 239
掘削	92
掘削作業条項	183
掘削船	92
掘削装置	92
掘削泥水	93
掘削当事者	220
掘削の開始	93
掘削パーシ	94
クッション・ガス	94
掘進率	94
屈折波	148
屈折法	95
くつひも状砂トラップ	217
組合せトラップ	96
クライス油田	8
クラウド法	11
クラウン・ブロック	93
グラディオ・マノメーター	319
クラッキング	96
グラビティ・アローアンス	96
クラモノ原油	115, 275
グリース	96
クリーン	96
クリーン・エナジー・ポリシー	97

グリーン・エネルギー	96
グリーン・タンカー	96, 224
グリーン・バラスト	294
クリスタル	97
クリスマス・ツリー	98
繰延係数	98
クルサニア油田	8
クルッキド・ホール	99
グルベンキアン	2, 3, 299
クレー・ペース・マッド	255
クレターシアス	99
呉羽式重質油高温分解法	174
クロージャ	99
クロージャの高さ	99, 133
クロージャの面積	99, 133
クロージャ量	99
クロム泥水	255
黒もの	132
群設置法	296
群島理論	66

け

KNPC	99
KOC	99
計画造船	100
経済協力開発機構	41
経済的利権	100
珪質頁岩	106
軽質原油	100
傾斜測定	100
傾斜不整合	312
傾斜掘り	101
経常支出	170
継続的掘削作業条項	183
ケーシング	101
ケーシング・カラー・ロケーター	111
ケーシング・ストリング	92
ケーシング・セントラライザー	102
ケーシング・パーフォレーター	102
ケーシング・ヘッド	104

ケーシングヘッド・ガス	104, 264
ケーシングヘッド・ガソリン	104
ケーシング・トンダ	273
ケービング	85
ケーブル深度安定装置	192
珪藻	104
経費否認	104
京浜パイプライン株式会社	104
軽油	105
ゲームの理論	105
頁岩	106
頁岩基線	168
頁岩油	106
決算	311
Getty Oil	106
下盤	239
ケミカル・リファイナリー	199
ケリー	107
ケリー・プッシング	93
ケリー孫井戸	337
ゲル	327
ゲル・ストレングス	14, 39, 248
ゲルゼンベルグ	268
減圧軽油	322
減圧蒸留	107
減圧蒸留装置	107
減圧フラッシング装置	107
限界値	360
減価償却	107
現金収支	108
権原	108
現在価値	110
現在価値法	110
現在価値利潤率	110
現在価値率	110
原始埋蔵量	111
原子力	13, 97
現状維持協定(条項)	111
検層	111
検層解析	111
検層車	111

検層柱状図.....	111, 119	航空潤滑油.....	180
減退.....	112	鉱区税.....	122
減退曲線.....	112	鉱区返還.....	122
減退曲線法.....	112	鉱区料.....	124
減退率法.....	113	孔隙率.....	124
懸濁方式.....	212	坑口.....	330
現地供給義務.....	113	坑口装置.....	125
現地精製.....	113	工作油.....	180
限定キャリド・インタレスト.....	84	鉱産税.....	125
現物ロイヤルティ.....	365	公示価格.....	125
減耗控除.....	114	合成ガソリン.....	72
原油.....	114	向斜.....	125
原油基.....	114	向斜構造.....	125
原油生焚き.....	116	向斜軸.....	125
原油分解.....	116	向斜軸面.....	125
		向斜・不整合組合せトラップ.....	96
こ		鉱床.....	125
コア.....	116	坑井間隔.....	126
コア採取.....	118	坑井干渉.....	126
コア採取器.....	118	合成記録.....	221
コア試験.....	116	坑井仕上げ.....	126
コア・パーレル.....	118	坑井刺激法.....	126
コア掘り.....	118	合成ガス接触水添法.....	200
興亜石油㈱.....	54, 74, 191	合成天然ガス.....	126
高硫黄原油.....	118	構造運動.....	218
高温異性化法.....	13	構造試験.....	127
公海.....	118	構造成(天然)ガス.....	127
公開会社.....	56	構造トラップ.....	127
公海自由の原則.....	231	構造封塞タイプ.....	323
公害対策基本法.....	118	坑底圧.....	127
公海の自由.....	63	坑底負担書面協定.....	127
高感度測温器.....	319	合同石油開発㈱.....	5
高感度ディップメーター.....	119	購入協定.....	313
工業ガソリン.....	72	坑壁.....	334
鉱業権.....	119	港費.....	127
鉱業パートナーシップ.....	284	GO-ファイニング.....	237
鉱業法.....	121	合名会社.....	284
鉱区.....	121	合有.....	90, 310, 342
航空ガソリン.....	72, 157	効用.....	127
航空磁気探鉱.....	122	効用関数.....	128
航空磁気探査.....	122	効用曲線.....	128